

Q & A

臨床実習について
Q. 実習が不安です。どんな施設に行くのですか？
各地にある約530の 本学実習施設の中から、学生の希望や適性を基に教員が決定します 。実習中は、本学教員がこまめに連絡を取り状況を確認しますので、遠方の施設になっても安心です。
Q. 実習前や実習中、先生はどのようなサポートをしてくれますか？
提携病院内にある本学実習指導専用施設（臨学共同参画センター）には、本学教員が常駐しており、 教員から実習前に計画を立てたり、実習中も日々振り返りを行ったり と、実習中も本学教員から指導を受けることができます。
Q. 他大学との実習に違いはありますか？
1年次から教員帯同で臨床現場での実習を行っています 。最初は見学から、学年が上がるにつれて実践へと段階的に変化していくため、早期から実際の仕事のイメージをしながら実力をつけていくことができる環境があります。

就職支援について
Q. 在学中にどんな資格の取得をめざせますか？
PT・OT・STの受験資格のほか、 初級・中級障がい者スポーツ指導員 や 福祉住環境コーディネーター などの関連資格取得に向けた専門講義を受講することができます。複数の資格を取得することは就職にも役立ちます。
Q. 就職についてのサポート体制はありますか？
ベーシックマナーセミナー や 就職活動準備セミナー があり、就職活動で必要となる知識や面接技術等について知ることができます。また、必要に応じ、個別に 面接対策指導 を受けることができ、学生からは面接時の身だしなみへの助言や質問への対応方法などの個人指導で自信がついた等、とても好評です。

学生生活について
Q. 先輩や後輩とのつながりはありますか？
規模が小さい大学であることに加え、他学年と一緒に学ぶ授業や国試対策で先輩・後輩が関わる機会もあるので、 自然と上下や他専攻とのつながりが生まれやすい環境 にあります。
Q. 先生は、どんな方がいますか？
教員は、現在も病院・介護老人保健施設・訪問リハビリテーション・研究機関・小児施設など さまざまな臨床現場で活躍しているプロ揃い です。また、みな熱心で親しみやすく、 学生のやる気にいつでも真摯に応えてくれます 。
Q. 友達ができるか不安です。懇親会などはあるのでしょうか？
大学が主催する懇親会等はありませんが、入学前の オリエンテーション や入学後は 少人数やグループ単位で行う授業等、早い段階から同級生との交流 を深めることができるようカリキュラムを工夫しています。自然な流れで大学生活に慣れていくことができるよう教職員もサポートします。
Q. 学生生活での悩み事を相談することができますか？
できます。 チューターをはじめとした教員 はもちろん、 専門カウンセラーによる学生相談室（予約制） で何でもご相談ください。
Q. 勉強ばかりで大変そう。アルバイトと勉強の両立は難しいですか？
ほとんどの学生がアルバイトを行い 、計画的に無理のないよう工夫しています。アルバイトはコミュニケーション力が身に付くので、 みんな楽しんで頑張っています 。

Q. ボランティア活動にはどのような学生が参加していますか？
プログラムによって違いはありますが、 例年、1年生～3年生が参加 しています。他の授業にはない経験ができると好評で、普段の学生生活では学べない幅広い経験や繋がりを築くことができるため、ぜひご参加いただくことをおすすめします。
Q. 国際交流の機会などはありますか？
はい。例えば 国際リハビリテーション では、現地の子どもとの交流や、現地講師による講義など自らの視野と可能性がひろがる体験ができるため、学生から人気です。その他にも、 短期留学制度 などを設置しています。

国試対策・フォロー体制について
Q. 入学前に課題はありますか？それは大変ですか？
入学前から 「^{オス}OH^スSUドリル 」というオンライン教材に取り組んでいただきます。高校までの学習内容の復習ですので、特別に難しいわけではありませんし、時間も多くはかかりません。 入学後の授業をよく理解して進むための教材 です（入学後、ドリルの結果が成績評価に影響することはありません）。
Q. 他大学に比べて特徴的な教育などありますか？
1年次からの臨床実習やボランティア活動など、 早期から臨床現場等で患者さまや障がいをお持ちの方々と関わる機会を多く設けており、段階的に自然と力がつくよう工夫されています 。また、実際の医療や福祉・介護等の現場で多くのことを見て聞いて学び、「誰かの力になる喜び」を実感できます。学生のやる気に熱心に応えてくれる 教員の手厚いサポート も特長で、授業は楽しく理解がしやすいと学生から評判です。
Q. クォーター制のメリットは何ですか？
半年ではなく3か月ごとに科目試験とその振り返りの学習サポートを行うことで、 教員からのフォローの効果をより実感できて安心です 。学生にとって、 短い間隔で知識の確認を行えるため、内容の理解がしやすい メリットがあります。
Q. 理系科目が苦手です。大丈夫でしょうか？
入学前教育での理系科目の復習 や、入学後すぐの リメディアル教育（不足している基礎学力を補うための補習教育） でしっかりと基礎を固めるのでご安心ください。高校時代は文系クラスだった人も、同じスタートラインから始められます。

Q. 全学一斉試験と科目試験の違いは何ですか？
全学一斉試験では、国家試験本番を想定した試験形式で行い、ゴールに向けた到達度を毎年確認します 。学生本人と教員が今後の学習計画に活かすことが 目的 で、成績に影響することはありません。
Q. 個別学習計画って、宿題があるのですか？
個別学習計画は、 一人ひとりの学力や苦手分野などに合わせて、指導や学習方法の計画を行う ものです。決まった宿題はありませんが、必要に応じて課題を出す場合があります。
Q. オンライン授業等は実施されていますか？
Moodle（学習支援システム）やZOOMを活用した遠隔授業 を実施しています。ZOOMではチャットで質問ができるため効率よく学べることに加え、体調不良などやむをえず欠席しても、録画された授業動画で後日学習できることが特長です。今後も状況に合わせて、都度改善を行っていきます。

Q. 学力に不安があります。早い段階から授業や国試対策についていけなくなった場合は、サポートなどは受けられますか？
受けられます。入学前の 「^{オス}OH^スSUドリル 」や入学後の リメディアル教育 をはじめ、 クォーター制度でのフォロー 実施、 全学一斉試験による理解度チェック、個別学習指導 など、在学中は専任教員がきめ細かにサポート。学生一人ひとりの顔を見て指導する、本学ならではの強みです。 卒業生が個別指導する「学習支援塾」 もあります。

セラピストをめざす4年間が
ここから始まります。



誰かの
力になる
喜びを。

大阪保健医療大学の 成長プログラム

理学療法学専攻

運動機能を回復するスペシャリストへ

「医療」をベースに、「福祉」「スポーツ」と幅広いリハビリテーションを学びます。臨床実習は1年次から始まり、実力を磨くチャンスが豊富。対象者さまと向き合い、技術力とコミュニケーション能力を実践的に磨いていきます。分野ごとに実習や演習と講義を連携して段階的に学んでいくので、知識や技術がしっかりと定着し、ステップアップを実感しながら成長することができます。

Point!

病院のセラピストと本学の教員の
両方から臨床実習で指導が受けられる！

提携病院で行う実習には、提携病院の研修センター内にある「臨学共同参画センター」に本学の教員も同行します。実習には病院のセラピストの指導に教員も立ち会い、その日のうちに教員から実習内容に関する指導やアドバイスを受けられます。セラピストと教員が協力して実習をサポートしてくれるため、安心して実習に取り組むことができます。

作業療法学専攻

生きがいを支援するスペシャリストへ

「身体」「精神」「発達」「老年期」の4分野にわたる幅広い領域で、障がいを持つ方の日常動作の訓練をするための知識と技術を学びます。また、より充実した生活へとサポートするために「スポーツ」「動物」「地域」「海外」におけるリハビリテーションも学べるのが本専攻の特徴。学内実習や施設訪問などで対象者さまの生活状況を実際に学び、着実にステップを踏んでから本格的な臨床実習へチャレンジできます。

Point!

WFOT認定校だから
作業療法士として国際的な活躍も可能！

WFOTとは世界作業療法士連盟（World Federation of Occupational Therapists）の略称で、作業療法士の国際的な推進を行う組織です。認定校となるには、カリキュラムや臨床実習時間の多さなどさまざまな条件を満たす必要があり、本学の教育水準の高さや実習時間が豊富であることを証明されています。



医療・福祉・スポーツをリハビリテーションで支える

大阪保健医療大学

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目9番27号
TEL. 06-6352-0093 E-MAIL. info@ohsu.ac.jp
<https://ohsu.ac.jp/>

